

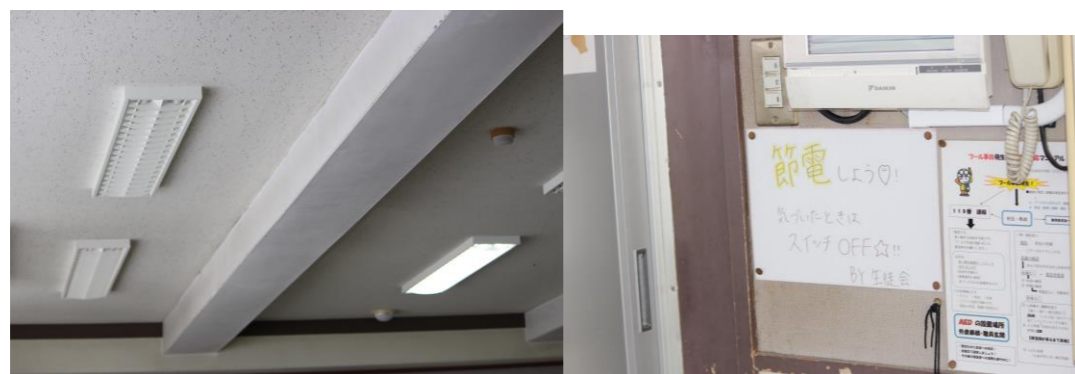
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	・豊かな自然に触れ、感動体験をする中で環境問題を考えるきっかけとする。	1	観音崎海岸での磯の生物観察会を行う。	1年職員	生徒職員	・観音崎海岸で、磯野生物観察会を行った。この海岸は、茅ヶ崎の砂浜海岸と違う磯海岸である。その違いも踏まえ、磯の生物に直接触れながら観察会を行い、環境について考えるきっかけづくりができた。 ・キャンプ（愛川ふれあいの村）で登山と野外炊事を行った。山林を歩き、豊かな自然に触れながらの体験学習ができた。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・多種多様な生物に直接ふれることができた。 ・自然体験をすることができた。 【今後の課題】 1年も2年も各行事を探究学習に位置付けている。課題の発見やまとめ、発表を通してより環境への意識の高まりを期待する。 【次年度への引継ぎ事項】 ・総合的な学習のカリキュラを作成し、3年間を見通した系統的な学びにすること。
		2	キャンプで登山と野外炊事やバンガローでの就寝等を行いながら自然体験学習を行う。	2年職員	生徒職員		
		3					
		4					
電気・水・物を大切に使う活動	・節電意識の喚起を行う。	1	使っていない教室・トイレなどの電気をこまめに消す。天気の良い日は、南側の電気はつけない。	生徒職員	生徒職員	・各クラスにおいて、週番活動を取り入れて、空き教室の消灯や蛇口の閉め忘れ等生活の呼びかけ、確認を行った。 ・節水に努めた。 ・教室の電気は必要な場所のみをつけるようにした。 ・印刷室にボックスを用意し、裏面の利用ができるようにした。その紙は、職員への文書配付に利用した。 ・職員会議は、資料の電子化を行い、ペーパーレス化した。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・週番活動を各クラスで行ったことにより、主体的な生徒の活動につながってきた。 ・ペーパーレス化ができています。 【今後の課題】 ・さらに生徒の主体的な活動になるよう工夫していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 ・取り組みが形骸化しないように、意味をしっかりと伝える。
		2	印刷やコピーなどの無駄をなくす。電子データを有効に使い、ペーパーレス化をはかる。	職員	職員		
		3					
		4					
捨てるごみを減らす活動	・リサイクルに対する意識の喚起を行う。	1	ペットボトルキャップの回収を行う。	職員	職員	・職員室内で出たごみを分類できるように、「プラスチックごみ専用」「燃やせるごみ専用」と2種類のごみ箱を用意した。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・PTAによるエコキャップの回収はなくなったが、職員が活動を継続している。 ・職員の分別収集に関してはほぼできている。基本は、個人で持ち込んだごみは捨てずに持ち帰ることにしている。 ・ごみの分別については、職員会議等でも保健総務部から積極的啓発の声かけをしている。 【今後の課題】 ・生徒主体の活動を今後は考えていきたい。
		2	捨てるごみとリサイクルできる資源を分ける。	職員	職員		
		3					
		4					



再生紙の利用



分別収集



節電

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】 佐藤 洋

【今後の方向性について】

環境についての学習は、理科、社会などの教科や、総合的な学習の時間の探究学習において、継続的に行っていく予定です。

節電や節水については、生徒会や委員会活動等で啓発ポスターを作製したり、各クラスの週番活動で一層意識させたりするなど、学校全体で意識できるようにしていく事が大切であると考えています。